
俺の！

結城

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の！

【コード】

N7214H

【作者名】

結城

【あらすじ】

カカシさん男ですが乙女です。小説家になろう初 イルカカ B
Lです。

(前書き)

これはホモ小説です。イルカ力です。13禁くらいです。

今日は上・特上・中忍合同の飲み会。

今の状況はというと、アスマ先生は酒を樽ごと飲み、アンコ特上は嫌がる中忍に無理矢理酒を飲ませ、他の人達も大声で騒いでいる。

そして俺の愛しのカカシさんは・・・くノ一に囲まれてます。そして俺はカカシさんに睨まれてます・・・(泣)何故かというと、俺もくノ一の方々に囲まれているから・・・(汗)

「ねえ。イルカ先生」

「・・・はい。なんですか・・・？」相手にするの、めんどくさくなってきた・・・。

「イルカ先生はあ、彼女いるんですかあ？」ああ！カカシさん。自分の酒の限界量越えちゃってる！

「え・・・？」

「だからあ、イルカ先生は彼女いるの？」うーん。カカシさんは確かに彼女の役割だけど・・・男だし。まあどちらにしろ、いるって言うておいたほうがいいだろう。

「・・・います。」『ええええええ！！！！』

「誰！？」

「えつと・・・」スクツ。『？？？』トスツ。カカシさんが俺の股の間に膝立ちになり、俺の首に腕を巻き付ける。

「いるかさんは、おれの！！！！」そして触れるだけのキスをしてくる。俺は耳元で囁く。

「いいんですか？ばらしちゃって。」

「ふあん・・・いいんっ・・・ですう。」

「じゃあ、悪戯し放題ですね」

「え？」今度は深い深いキスをする。

「ふっ・・・あっ・・・ふあん・・・やんっ・・・」『／／／／』十分掻き回して放してやる。

「ま、こういう事ですので、この方に手、出さないでくださいね。さて、カカシさん。帰りましょうか。」コクン。

「でも…」

「どうかしたんですか？」

「立てなくなりました…」
「／／／」俺はニコツと笑うとカカシさんをお姫様抱っこする。

「では、帰りましょうか。」
「シュツと音を立てて帰路につく。カカシさんはいつの間にか寝ていたようだ。」

「ホント可愛い人」

嫌だと言っても放しませんよ。だって貴方はもう俺のなんだから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7214h/>

俺の！

2010年10月17日04時32分発行